

自動車の振動騒音中級講座

自動車の振動・騒音に関する基礎をわかりやすく解説すると同時に、具体的な実例を示すことにより有用性についても理解して頂くことを目的に開講いたします。又、最新の高周波音響特性予測技術についても解説します。

開催日 2015年 3月 27日(金) 13:30～17:00

場 所 日本大学生産工学部 (千葉県習志野市泉町1-2-1)

講 師 日本大学生産工学部 数理情報工学科 教授 見坐地一人
(NU-CAR副センター長)



講師 見坐地一人

＜講師プロフィール＞

(株)本田技術研究所退社後

2009年より日本大学生産工学部数理情報学科教授

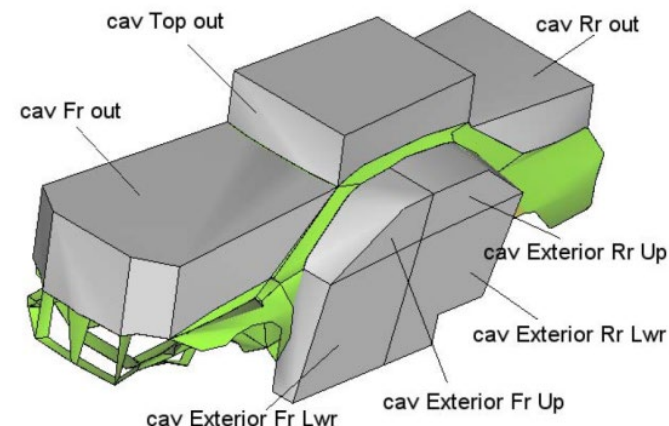
研究分野 音響解析・数理モデル化・シミュレーション工学

受賞論文 2003年・2007年 (株)本田技術研究所

2005年 自動車技術会

講習内容 ＜座学＞

- (1) 低周波から高周波の振動騒音発生メカニズムの説明
- (2) 中高周波領域のNV現象とその対策手法の説明
- (3) SEAの基礎, SEAハイブリッド手法, SEA/FEMハイブリッド法
- (4) 防音材のBiotモデルについて
- (5) まとめ



受講料 賛助会員 1口3名様まで無料、一般参加者 15,000円

募集定員 20名(最少開講人数 5名)

受講申込・問合せ先

日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター

Phone 047-474-3188 e-mail cit.nucar.info@nihon-u.ac.jp

担当 高橋 申込締切日 3月25日(水)

NU-CAR LECTURE SERIES

ドライバの状態計測とその応用

講師がこれまでに行ってきたドライバの状態計測に関する研究事例を紹介して、これらの研究で使用してきた主に自律神経指標の計測方法および解析方法の解説を行います。次に、生体反応計測のデモンストレーションを行うことで、参加者には生体反応計測を行う上でのノイズ対策などをご理解頂けると思います。講習会の最後には、参加者からの質問コーナーを設けますので、講習内容に関する理解を深めて下さい。

開催日 2014年 12月 19日(金) 13:30～16:30

場 所 日本大学生産工学部 (千葉県習志野市泉町1-2-1)

講 師 日本大学生産工学部 機械工学科 准教授 栗谷川幸代



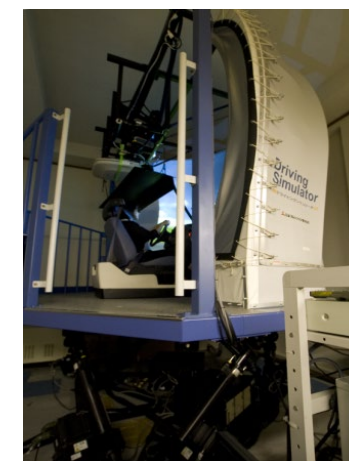
講師 栗谷川幸代

＜講師プロフィール＞

- ・日本大学生産工学部准教授
 - ・日本大学大学院生産工学研究科博士後期課程(機械工学専攻)修了(2002)
 - ・The University of Nottingham(英国)客員研究員(2010.8-2011.8)
- 専門分野 人間・機械システム

講習内容

- ①ドライバの状態計測に関する研究事例の紹介
- ②被験者実験の要件
- ③自律神経系指標の計測方法と解析方法(心拍、呼吸、等)
- ④生体計測のデモンストレーション
- ⑤質問コーナー



受講料 賛助会員 1口2名様まで無料、一般参加者 15,000円

募集定員 20名(最少開講人数 5名)

受講申込・問合せ先

日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター

Phone 047-474-3188 e-mail cit.nucar.info@nihon-u.ac.jp

担当 高橋 申込締切日 12月17日(水)

NU-CAR LECTURE SERIES

二輪車の運動力学(初級編)

二輪車の運動力学は複雑で、全体を短時間で理解するのは難しいが、時間を掛けた基礎講習会はこれまでほとんど行われてきませんでした。本基礎講習会では、二輪車の運動力学を3部構成として、二輪車の運動力学について実際の計測車両や計測結果を用いた解析を含め講義を行います。

第1回は二輪車の運動力学(初級編)として、二輪車の運動を考えるための基礎知識、座標系、タイヤで発生する力特性、自由度、定常特性等について基礎式の展開を含め解説します。また、実習として実験車両の見学及び計測したデータを基に、解析の方法(MATLABを使用)について解説します。なお、初級編の受講者の皆様に対しては、動的な特性に関する二輪車の運動力学(中級編)を開催致します(日時調整中)。

開催日 2014年 7月 25日(金) 13:00~17:00

場 所 日本大学生産工学部 (千葉県習志野市泉町1-2-1)

講 師 日本大学生産工学部 機械工学科 教授 景山一郎 (NU-CARセンター長)



講師 景山一郎

＜講師プロフィール＞

日本大学生産工学部教授、工学博士

1977年日本大学大学院理工学研究科修了

1989年オランダデルフト工科大学客員研究員

1994年より現職

専門 自動車工学・機械力学・制御工学

所属学会 自動車技術会、日本機械学会

自動車製造物責任相談センター理事など歴任

講習内容 <座学>

1. 二輪車の運動の特徴と問題点
2. 二輪車の運動を考えるための座標系と運動の自由度
3. タイヤの特性
4. 二輪車の定常状態における力とモーメントの釣り合い
5. 定常円旋回特性の誘導と解釈
6. ライダの姿勢(リーニン、リーンウィズ、リーンアウト)の影響
7. まとめ



受講料 賛助会員 1口2名様まで無料、一般参加者 25,000円

募集定員 20名(最少開講人数 5名)

受講申込・問合せ先

日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター

Phone 047-474-3188 e-mail cit.nucar.info@nihon-u.ac.jp

担当 高橋 申込締切日 7月23日(水)

NU-CAR LECTURE SERIES

高周波NV解析技術講座

自動車の振動・騒音に関する基礎をわかりやすく解説すると同時に、具体的な実例を示すことにより有用性についても理解して頂くことを目的に開講いたします。

開催日 2013年 3月 7日(木) 13:00～18:20

場 所 日本大学生産工学部 (千葉県習志野市泉町1-2-1)

講 師 日本大学生産工学部 数理情報工学科 教授 **見坐地一人**
(NU-CAR副センター長)



講師 見坐地一人

＜講師プロフィール＞

(株)本田技術研究所退社後

2009年より日本大学生産工学部数理情報工学科教授

研究分野 音響解析・数理モデル化・シミュレーション工学

受賞論文 2003年・2007年 (株)本田技術研究所

2005年 自動車技術会

講習内容

13:00～13:10 センター長挨拶 / 景山

13:10～14:10 高周波NV解析技術講座Ⅰ (SEA法の基礎と歴史) / 見坐地

14:20～15:20 高周波NV解析技術講座Ⅱ (ハイブリットSEA法による音響解析) / 見坐地

15:30～16:00 自動車に対するシリアスゲームの可能性 / 古市

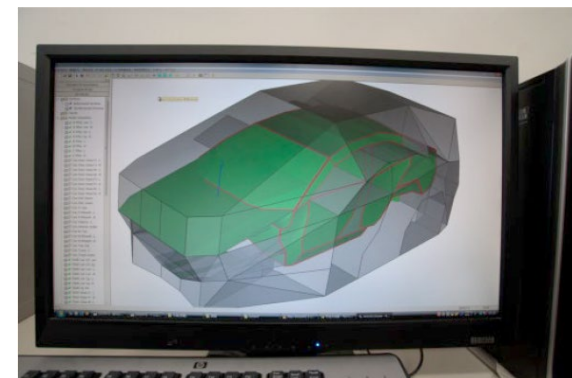
16:00～16:30 自動車の運動と制御 / 景山

16:30～17:00 施設見学 / 栗谷川

17:10～17:40 ヒューマン・マシン・インターフェース評価 / 栗谷川

17:40～18:10 ヒューマンファクター研究(調整中)

18:10～18:20 副センター長挨拶



受講料 賛助会員 1口3名様まで無料、一般参加者 20,000円

募集定員 20名(最少開講人数 5名)

受講申込・問合せ先

日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター

Phone 047-474-3188 e-mail cit.nucar.info@nihon-u.ac.jp

担当 高橋 申込締切日 3月 6日(水)

NU-CAR LECTURE SERIES

二輪車の運動力学・中級編

昨年二輪車の運動力学・初級編で行った定常特性の解説をしました。本講習会ではその続きとして、動特性について解説します。特に二輪車の運動方程式の考え方、誘導の仕方、解析の仕方、解析結果について解説します。

開催日 2012年 10月 24日(金) 13:00～17:00

場 所 日本大学生産工学部 (千葉県習志野市泉町1-2-1)

講 師 日本大学生産工学部 機械工学科 教授 景山一郎 (NU-CARセンター長)



講師 景山一郎

＜講師プロフィール＞

日本大学生産工学部教授、工学博士

1977年日本大学大学院理工学研究科修了

1989年オランダデルフト工科大学客員研究員

1994年より現職

専門 自動車工学・機械力学・制御工学

所属学会 自動車技術会、日本機械学会

自動車製造物責任相談センター理事など歴任

講習内容 〈座学〉

1. 二輪車の運動特性の概要
2. 座標系と状態量の定義
3. 前輪系および車体系に作用する力と位置
4. 座標変換と線形化
5. 運動方程式の誘導
6. 運動方程式を用いた解析(根軌跡)
7. まとめ



受講料 賛助会員 1口3名様まで無料、一般参加者 20,000円

募集定員 20名(最少開講人数 5名)

受講申込・問合せ先

日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター

Phone 047-474-3188 e-mail cit.nucar.info@nihon-u.ac.jp

担当 高橋 申込締切日 10月 22日(水)

NU-CAR LECTURE SERIES

ドライバの状態計測とその応用

講師がこれまでにやってきたドライバの状態計測に関する研究事例を紹介して、これらの研究で使用してきた主に自律神経指標の計測方法および解析方法の解説を行います。次に、実際に生体反応計測のデモンストレーションを行い、参加者にも生体反応の計測を体験して頂きます。講習会の最後には、参加者からの質問コーナーを設けますので、講習内容に関する理解を深めて頂ければと考えています。

開催日 2012年 7月 6日(金) 13:00～17:00

場 所 日本大学生産工学部 (千葉県習志野市泉町1-2-1)

講 師 日本大学生産工学部 機械工学科 准教授 栗谷川幸代



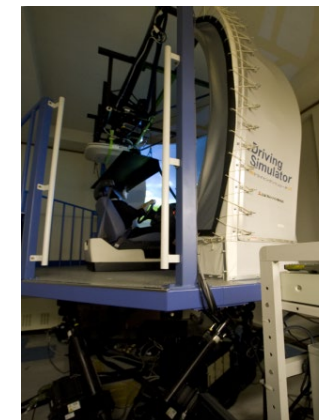
講師 栗谷川幸代

＜講師プロフィール＞

- ・日本大学生産工学部准教授
- ・日本大学大学院生産工学研究科博士後期課程(機械工学専攻)修了(2002)
- ・The University of Nottingham(英国)客員研究員(2010.8-2011.8)

講習内容

- ①ドライバの状態計測に関する研究事例の紹介
- ②被験者実験の要件
- ③自律神経系指標の計測方法と解析方法(心拍、呼吸、等)
- ④生体計測のデモンストレーション
- ⑤設備見学会(ドライビングシミュレータ、等)
- ⑥質問コーナー



受講料 賛助会員 1口3名様まで無料、一般参加者 20,000円

募集定員 20名(最少開講人数 5名)

受講申込・問合せ先

日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター

Phone 047-474-3188 e-mail cit.nucar.info@nihon-u.ac.jp

担当 高橋 申込締切日 7月4日(水)

自動車の振動騒音の基礎

自動車の振動・騒音に関する基礎をわかりやすく解説すると同時に、具体的な実例を示すことにより有用性についても理解して頂くことを目的に開講いたします。

開催日 2012年 3月 2日(金) 14:00～17:00

場 所 日本大学生産工学部 (千葉県習志野市泉町1-2-1)

講 師 日本大学生産工学部 数理情報工学科 教授 見坐地一人
(NU-CAR副センター長)



講師 見坐地一人

＜講師プロフィール＞

(株)本田技術研究所退社後

2009年より日本大学生産工学部数理情報工学科教授

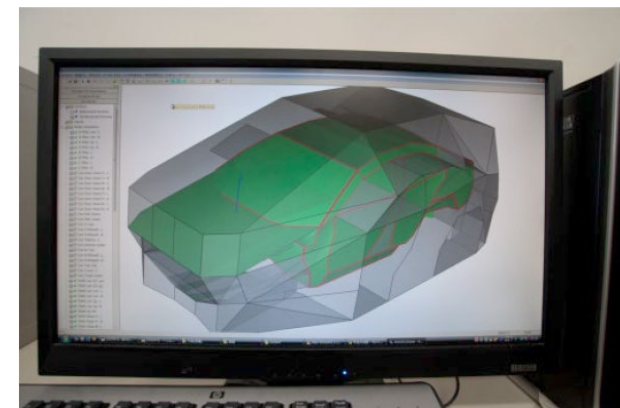
研究分野 音響解析・数理モデル化・シミュレーション工学

受賞論文 2003年・2007年 (株)本田技術研究所

2005年 自動車技術会

講習内容 ＜座学＞

- (1) 自動車の振動騒音とは？
- (2) 振動騒音の発生メカニズム
- (3) 振動騒音のシミュレーション手法
- (4) 振動騒音の概要
- (5) 電気自動車の振動騒音
- (6) まとめ



受講料 賛助会員 1口3名様まで無料、一般参加者 15,000円

募集定員 20名(最少開講人数 5名)

受講申込・問合せ先

日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター

Phone 047-474-3188 e-mail cit.nucar.info@nihon-u.ac.jp

担当 高橋 申込締切日 2月29日(水)

自動車の運動力学の基礎

自動車の運動力学の基礎を初歩からわかりやすく解説し、次に運動特性に関する実験方法等の解説と実験データを用いた解析例をわかりやすく説明します。

開催日 2012年 2月 24日(金)13:30~17:00

場 所 日本大学生産工学部 (千葉県習志野市泉町1-2-1)

講 師 日本大学生産工学部 機械工学科 教授 景山一郎 (NU-CARセンター長)



講師 景山一郎

＜講師プロフィール＞

日本大学生産工学部教授、工学博士

1977年日本大学大学院理工学研究科修了

1989年オランダデルフト工科大学客員研究員

1994年より現職

専門 自動車工学・機械力学・制御工学

所属学会 自動車技術会、日本機械学会

自動車製造物責任相談センター理事など歴任

講習内容 <座学>

1. タイヤ特性と力の発生機構について
2. 静的方向安定性と定常特性
3. 運動方程式の基礎
4. 自動車の運動特性
5. 自動車の運動特性試験法と計測システムの概要
6. 実験データと解析結果
7. まとめ
8. 実験車両および計測機器の見学



受講料 賛助会員 1口3名様まで無料、一般参加者 15,000円

募集定員 20名(最少開講人数 5名)

受講申込・問合せ先

日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター

Phone 047-474-3188 e-mail cit.nucar.info@nihon-u.ac.jp

担当 高橋 申込締切日 2月22日(水)

NU-CAR LECTURE SERIES

自動車の振動騒音の基礎

自動車の振動・騒音に関する基礎をわかりやすく解説すると同時に、具体的な実例を示すことにより有用性についても理解して頂くことを目的に開講いたします。

開催日 2011年 12月 16日(金) 14:00～17:00

場 所 日本大学生産工学部 (千葉県習志野市泉町1-2-1)

講 師 日本大学生産工学部 数理情報工学科 教授 **見坐地一人**
(NU-CAR副センター長)



講師 見坐地一人

＜講師プロフィール＞

(株)本田技術研究所退社後

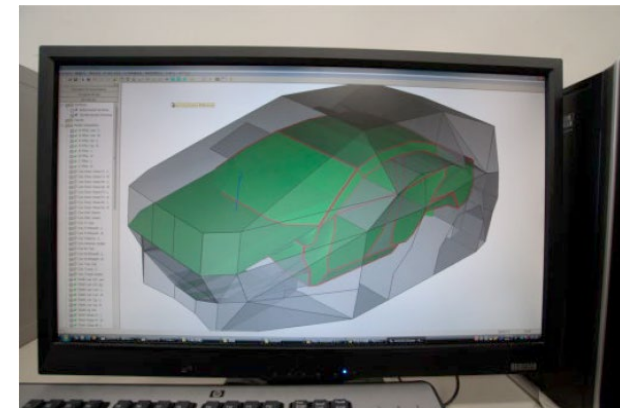
2009年より日本大学生産工学部数理情報工学科教授

研究分野 音響解析・数理モデル化・シミュレーション工学

受賞論文 (株)本田技術研究所、自動車技術会

講習内容 ＜座学＞

- (1) 自動車の振動騒音とは？
- (2) 振動騒音の発生メカニズム
- (3) 振動騒音のシミュレーション手法
- (4) 振動騒音の概要
- (5) 電気自動車の振動騒音
- (6) まとめ
- (7) 実習



受講料 賛助会員 1口3名様まで無料、一般参加者 15,000円

募集定員 20名(最少開講人数 5名)

受講申込・問合せ先

日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター

Phone 047-474-3188 e-mail cit.nucar.info@nihon-u.ac.jp

担当 高橋 申込締切日 12月13日(火)

板成形シミュレーションの適用の現状と 材料特性の計測実験

自動車の開発において、地球環境への負荷低減から車体の軽量化が進められています。構造的な改良に加えて、普通鋼板より強度の高い高張力鋼板および比重の低いアルミニウム合金板の適用量が増加しています。成形性の低いこれらの軽量化材料を適用した部品成形の可否判断は、適用経験の少ない現場の技術者のノウハウでは対応しきれなくなっており、数値シミュレーションの適用が必要不可欠となっています。

そこで、本講習会では、自動車業界の現状を概観し、特に車体部品のプレス成形に適用されてる板成形シミュレーション技術について、データ作成から解析結果の評価までを概説します。成形性の評価技術では、材料のわれ評価指標の作成実験も行います。またシミュレーション技術を活用可能な成形条件の最適化手法およびサーボプレス等の活用についても情報提供を行います。

開催日 2011年 11月 25日(金)11:00～17:00 (昼食1時間含む)

場 所 日本大学生産工学部 (千葉県習志野市泉町1-2-1)

講 師 日本大学生産工学部 機械工学科 教授 高橋 進

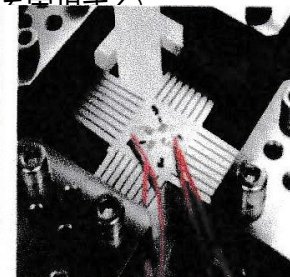
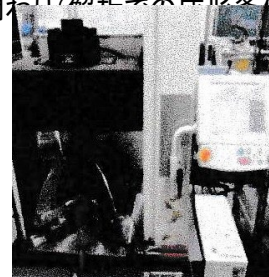


講習内容

- ①自動車の開発におけるシミュレーションの活用
 - ・自動車へのニーズ(今のクルマに望まれていることは?)
 - ・生産技術におけるシミュレーションの活用(ものづくりQ CT向上のために)
- ②シミュレーションを実行するための準備(どんなデータを準備すればいいの?)
 - ・金型と材料の形状データ(シミュレーションでは、どんな金型と材料を使うの?)
 - ・材料特性(材料試験は何をすればいいの?)
 - ・シミュレーション結果の評価用データ(われ、しわはどのようにして判断するの?)
- ③シミュレーションによる破断評価用実験(百聞は一見にしかず。体験してみましょう!)
 - ・金属薄板へのスクライブドサークルの印刷とひずみの測定
 - ・金属薄板のFLD(成形限界曲線)の作成
 - ・材料の降伏特性を計測する二軸引張り試験の実施
- ④成形シミュレーションの適用拡大と今後の展望
 - ・最適化技術の適用(計算機をフル活用するために)
 - ・サーボプレスと成形シミュレーションの関わり(解析での成形条件を実現する)
 - ・その他



板成形シミュレーション用データ



二軸引張り試験

受講料 賛助会員 1口3名様まで無料、一般参加者 25,000円

募集定員 20名(最少開講人数 5名)

受講申込・問合せ先

日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター

Phone 047-474-3188 e-mail cit.nucar.info@nihon-u.ac.jp

担当 高橋 申込締切日 11月21日(月)

ドライバの運転動作モデルの基礎編

自動車を操縦するドライバのモデル化は多方面で行われています。初期の段階ではドライバの運転動作を表すモデルとして、制御工学的な面から研究が行われてきました。特にコンピュータ上に構築した自動車とドライバの運転動作がどのようにマッチするか、また一般的なドライバが運転した場合に運動上問題とならないのか等々の人間・自動車系としての検討に用いられて来ました。近年では、マルチボディダイナミクス用の種々のソフトが普及した関係で、構築された自動車をコンピュータ上で操縦するドライバモデルは重要な役割を担っています。さらに、研究が進むに従い、ドライバの情報処理過程を表現するモデル、意思決定モデル、ドライバが行うマルチタスク時の負荷推定モデル等々が検討されています。また、近年ではドライバの運転行動を表現するモデルを用い実際のドライバの特性同定を行い、ドライバの個人特性評価にも用いる試みも行われています。

本講習会では、ドライバの運転動作の構造化から説明し、次に運転動作モデルの基礎について解説します。このモデル構築には、線形の伝達関数モデル、前方注視モデル等があり、これらを説明後、ファジイドライバモデル、ニューラルネットワークモデルなどの非線形モデルの概説を行います。続いて、希望進路を決定するために用いられる危機感モデルの説明、ドライバの個人特性を評価するためのモデル等々について解説を行います。また、実習としてMATLABを用いたモデリングを実施します。

開催日 2011年 2月 25日(金) 10:00～16:00 (途中昼休みを含む)
場 所 日本大学生産工学部 (千葉県習志野市泉町1-2-1)
講 師 日本大学生産工学部 機械工学科 教授 景山一郎
(NU-CARセンター長)



講習内容

〈座学〉

- (1) 乗用車のモデル化について
- (2) ドライバモデルの基礎
- (3) 伝達関数モデルの基礎
- (4) 前方注視モデルの基礎
- (5) ファジイドライバモデルの例
- (6) ニューラルネットワークモデルの例
- (7) 希望進路の決定過程と危険感モデル
- (8) ドライバ特性評価のためのモデル化

〈実習〉

- (a) MATLAB、SIMLINKの取り扱い
- (b) 車両の運動モデル構築
- (c) ドライバのモデル構築



受講料 賛助会員 1口2名様まで無料、一般参加者 50,000円
募集定員 20名(最少開講人数 5名)
受講申込・問合せ先

日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター
Phone 047-474-3188 e-mail cit.nucar.info@nihon-u.ac.jp
担当 高橋 申込締切日 2月10日(木)

NU-CAR LECTURE SERIES

二輪車の運動力学(初級編)

二輪車の運動力学は複雑で、全体を短時間で理解するのは難しいが、時間を掛けた基礎講習会はこれまでほとんど行われてきませんでした。本基礎講習会では、二輪車の運動力学を3部構成として、二輪車の運動力学について実際の計測車両や計測結果を用いた解析を含め講義を行います。

第1回は二輪車の運動力学(初級編)として、二輪車の運動を考えるための基礎知識、座標系、タイヤで発生する力特性、自由度、定常特性等について基礎式の展開を含め解説します。また、実習として実験車両の見学及び計測したデータを基に、解析の方法(MATLABを使用)について解説します。なお、初級編の受講者の皆様に対しては、動的な特性に関する二輪車の運動力学(中級編)を開催致します(日時調整中)

開催日 2010年 9月 17日(金) 10:00~16:00 (途中昼休みを含む)

場 所 日本大学生産工学部 (千葉県習志野市泉町1-2-1)

講 師 日本大学生産工学部 機械工学科 教授 景山一郎
(NU-CARセンター長)



講習内容

<座学>

- (1) 二輪車の運動の特徴と問題点
- (2) 二輪車の運動を考えるための座標系と運動の自由度
- (3) タイヤの特性
- (4) 二輪車の定常状態における力とモーメントの釣り合い
- (5) 定常円旋回特性の誘導と解釈
- (6) タイヤ特性と定常円旋回特性 (ステア特性と横すべり特性)
- (7) ステア特性に与える空気抵抗の影響
- (8) ライダの姿勢(リーニン、リーンウィズ、リーンアウト)の影響
- (9) まとめ

<実習>

- (a) 実験車両の見学(センサと記録機)
- (b) 計測データを取り扱う場合の注意事項
- (c) 解析とまとめ



受講料 賛助会員 1口2名様まで無料、一般参加者 50,000円

募集定員 20名(最少開講人数 5名)

受講申込・問合せ先

日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター

Phone 047-474-3188 e-mail cit.nucar.info@nihon-u.ac.jp

担当 高橋 申込締切日 9月10日(金)

NU-CAR LECTURE SERIES